

令和4年度

社会福祉法人庄内町社会福祉協議会

事業報告書

令和4年度庄内町社会福祉協議会事業の実施状況について

令和4年度本会事業につきましては、長引く新型感染症の影響、不安定な世界情勢に起因する、地域での孤立や経済的な困窮、また、ひきこもりやDV、児童虐待、権利擁護、ヤングケアラーなどの地域生活課題の解決に向け「第3期庄内町地域福祉活動計画」を令和4年3月に策定、その初年度として、当計画の基本理念である『健やかで やさしい 健康・福祉のまちづくり』と4つの基本目標を達成するため、本会が推進主体なり、地域住民、福祉員、民生委員・児童委員、専門機関・関係団体等の参画と協働のもと、地域福祉事業に取り組みました。

基本目標1 地域が支えあう「つながり」の構築について

住民が主体となる地域づくりの推進として、ボランティア組織と共に防災イベントを開催、災害ボランティアセンターの体制整備に向け、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施し、地域住民、地域団体の参加のもと、防災意識の醸成、災害時におけるボランティアのあり方について認識を共有しました。

「集落いきいきサロン活動」について、サロン活動を継続できるよう支援体制の整備と情報提供を行うとともに、生活支援コーディネーター業務（庄内町から受託）では、生活支援の担い手の養成・サービスの開発、「コーディネーターだより」による情報共有・発信を行い、地域における「つながり」の場づくりを推進しました。

また、**地域住民による「支えあい」を推進**すべく「福祉員活動の推進」「民生委員・児童委員活動の支援」をおこない、地域福祉を推進する組織との連携を強化し、地域全体での地域生活課題の把握、解決に努めました。

基本目標2 地域住民の「生活を支える」取り組みの推進について

相談・支援体制の強化として、「庄内町福祉総合相談センター」を核とする、専門職による相談体制の整備、本会部署間及び関係機関との迅速かつ円滑な連携を図り、複合的な課題の解決の推進にあたりました。

また、**生活支援の推進**としては、日常生活において支援を必要とする方に対して、「食事（配食）サービス」「福祉サービス利用援助事業」等を活用し、適切なサービスの提供に努めました。

生活困窮者支援の促進では、生活困窮者等相談支援事業（庄内町から受託）において、必要な情報提供および助言、県や関係機関との連絡調整など必要な援助を行うとともに、生活援護金や福祉資金、フードバンクなどの本会独自のサービスの活用を図りながら、継続的な支援を実施しました。

基本目標3 福祉サービスの充実に向けた取り組みの推進について

高齢者支援の充実として、「介護センターほほえみ」を運営、介護保険法に基づく「訪問介護事業（ホームヘルプ）」、「居宅介護支援事業（ケアマネジメント）」の実施、職員の資質向上のための研修を行い、利用者が安心して、自分らしく生活が送れるようサービスの向上に努めました。

また、地域包括支援センター（庄内町から受託）を運営し、高齢者の人権・財産を守るための支援や、住み慣れた地域で暮らし続けることができるための支援、認知症に対する支援を実施し、地域包括ケアシステムの構築を推進しました。

障がい児（者）支援の充実としては、障害者総合支援法に基づき、「障害者多機能型施設ひまわり園」を運営、「生活介護事業」「就労移行支援事業」「就労継続支援（B型）事業」「就労定着支援事業」を実施、利用者個々のニーズに合った、きめ細かなサービスを提供しました。地域活動支援センター（庄内町から受託）では、障がいのある人等の地域生活支援の促進を図りました。

また、障害者相談支援センター（庄内町から受託）を運営、関係機関と連携しながら、障がい福祉サービスの利用支援、障がい福祉サービス事業所見学会の実施、各種支援施策につながる助言、情報提供等を行い、相談支援体制の充実を図りました。

ひきこもりサポート事業（庄内町から受託）では、ひきこもり相談会、居場所事業の実施、ひきこもりサポーターとの連携、関係機関との連絡調整を行いました。

子育て支援の充実について、各種助成制度を活用し、子供の居場所づくりを実施する組織に対して、活動の一助となるよう支援しました。

基本目標4 地域福祉推進のための「基盤づくり」について

社会福祉活動の周知・啓発、活動支援として、地域で福祉活動をおこなっている団体等が自主的かつ継続的に活動できるよう支援を行いました。

また、地域での福祉活動や本会の活動など、本会広報誌「福祉しようない社協」、ホームページ等により地域に発信し、地域福祉活動への周知・啓発に努めました。

法人組織体制の強化としては、障害者多機能型施設ひまわり園の施設整備、それに伴う効率的・効果的な施設のあり方について協議し、民間財団のプロジェクトに応募しました。結果、不採択となりましたが、今後も地域における福祉ニーズ踏まえながら、検討を継続します。

以上、令和4年度本会事業の実施状況における概要とし、全般にわたる詳細は、部署ごとの事業報告に記載しております。

最後に、地域住民のみなさまのご理解とご協力、庄内町及び各関係機関団体のご指導とご支援を賜りまして各種事業を実施できましたことに深く御礼申し上げます。

1 法人運営(総務福祉課)

法人運営、事業執行のため、理事会等を効果的に開催し、各種事業、事務を適正に推進しました。

また、庄内町議会議員と理事との意見交換会を開催し、事業等や課題の情報共有を図りました。

コロナ禍における事業展開においては、感染予防対策を徹底し、社会の情勢を鑑みながら事業を実施しました。

(1) 組織推進体制の整備強化

①理事会の開催

開催年月日	開 催 内 容
R4.6.8	<p>第1回 理事会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 理事 9名 監事 2名</p> <p>(1)議案第1号 専決処分事項の承認について(補正予算) (2)議案第2号 専決処分事項の承認について 【介護センターほほえみ指定居宅介護等事業所運営規程】 (3)議案第3号 令和3年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業報告 (4)議案第4号 令和3年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支決算 (監査報告) (5)議案第5号 令和4年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会資金収支 補正予算(第1号) (6)議案第6号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会育児・介護休業等に 関する規則の全部改正について (7)議案第7号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会理事候補者の推薦 について (8)議案第8号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会評議員候補者の推 薦について (9)議案第9号 定時評議員会の招集について 報告事項 (1)職務執行状況報告について</p>
R5.3.23	<p>第2回 理事会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 理事 9名 監事 2名</p> <p>(1)議案第10号 専決処分事項の承認について 【ひまわり園指定就労継続支援B型事業所運営規程】 (2)議案第11号 専決処分事項の承認について 【ひまわり園指定就労定着支援事業所運営規程】 (3)議案第12号 専決処分事項の承認について(補正予算) (4)議案第13号 専決処分事項の承認について(補正予算) (5)議案第14号 令和4年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会資金収支 補正予算(第4号) (6)議案第15号 令和5年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業計画 (7)議案第16号 令和5年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支予算 (8)議案第17号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会職員給与等支給 規程の一部を改正する規程の制定について (9)議案第18号 非常勤臨時職員(登録ホームヘルパー)の勤務時間及び賃金 に関する取扱要領の一部を改正する要領の制定について (10)議案第19号 障害者相談支援事業運営規程の一部を改正する規程の</p>

開催年月日	開 催 内 容
	<p>制定について (11)議案第20号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会理事候補者の推薦について (12)議案第21号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会評議員候補者の推薦について (13)議案第22号 評議員会の招集について 報告事項 (1)職務執行状況報告について</p>
R5.3.30	<p>第3回 理事会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 理事 10名 監事 1名 (1)議案第23号 副会長の選任について</p>

②評議員会の開催

開催年月日	開 催 内 容
R4.6.23	<p>第1回 評議員会(定時評議員会) 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 評議員 14名 (1)承認第1号 専決処分事項の承認について(補正予算) (2)承認第2号 令和3年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業報告 (3)承認第3号 令和3年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支決算 (監査報告) (4)承認第4号 令和4年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支補正予算 (第1号) (5)議案第1号 理事の選任について 報告事項 (1)職務執行状況報告について (2)介護センターほほえみ指定居宅介護等事業所運営規程(居宅介護、重度訪問介護、同行援護)の一部を改正する規程の専決処分について (3)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の全部改正について</p>
R5.3.30	<p>第2回 評議員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 評議員 12名 (1)承認第5号 専決処分事項の承認について(補正予算) (2)承認第6号 専決処分事項の承認について(補正予算) (3)承認第7号 令和4年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支補正予算 (第4号) (4)承認第8号 令和5年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業計画 (5)承認第9号 令和5年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支予算 (6)議案第2号 理事の選任について 報告事項 (1)職務執行状況報告について (2)障害者多機能型施設ひまわり園指定就労継続支援(B型)事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について</p>

開催年月日	開 催 内 容
	(3)障害者多機能型施設ひまわり園指定就労定着支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (4)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会職員給与支給規程の一部を改正する規程の制定について (5)非常勤臨時職員(登録ホームヘルパー)の勤務時間及び賃金に関する取扱要領の一部を改正する要領の制定について (6)障害者相談支援事業運営規程の一部を改正する規程の制定について

③監事会の開催

実施年月日	実 施 内 容
R4.5.25	内部監査 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 監事 2名 ・令和3年度 事業並びに会計に関する監査報告作成のための監査 包括課、介護サービス課事業並びに収支決算諸表 ひまわり園、障害者相談支援センター事業並びに収支決算諸表 本部、総務福祉課事業並びに収支決算諸表
R4.9.29	庄内町監査委員による監査 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 監査委員 2名 ・令和3年度 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会 事業実施状況並びに会計決算処理状況について

④評議員選任・解任委員会開催

実施年月日	実 施 内 容
R4.6.15	第1回 評議員選任委員会 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 評議員選任・解任委員 5名 (1)評議員の選任について (2)その他
R5.3.24	第2回 評議員選任委員会 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 評議員選任・解任委員 5名 (1)評議員の選任について (2)その他

⑤庄内町議会議員と理事による意見交換会の開催

実施年月日	実 施 内 容
R5.2.10	庄内町議会と庄内町社会福祉協議会との意見交換会 実施場所 庄内町役場B棟3階 大会議室 出席状況 庄内町議会議員 13名 理事 6名 (1)庄内町地域福祉活動計画について (2)庄内町社会福祉協議会の業務内容について (3)庄内町社会福祉協議会の課題について (4)その他

⑥事務局体制の強化

管理者等会議を月1回開催し、情報共有等を図り、事業推進に努めました。

開催年月日	開 催 内 容
R4.4.21	協議内容 (1)令和4年度事務分担について (2)令和4年度庄内町社協のあらましについて (3)令和4年度行事予定について (4)5月業務予定について (5)監査、理事会・評議員会の日程等について
R4.5.13	協議内容 (1)1月～3月実績について (2)6月業務予定について (3)理事会・評議員会提出議案について
R4.6.21	協議内容 (1)7月業務予定について
R4.7.22	協議内容 (1)8月業務予定について (2)4月～6月実績について
R4.8.18	協議内容 (1)9月業務予定について
R4.9.21	協議内容 (1)10月業務予定について
R4.10.20	協議内容 (1)7月～9月実績について (2)11月業務予定について (3)令和4年度当初予算に係る町補助金、町受託金の予算積算・要求作業について
R4.11.22	協議内容 (1)12月業務予定について (2)令和4年度当初予算概要について
R4.12.20	協議内容 (1)1月業務予定について (2)令和5年度部署別予算(補助金・委託金)要求額について
R5.1.26	協議内容 (1)10月～12月実績について (2)2月業務予定について (3)理事会、評議員会の日程について
R5.2.20	協議内容 (1)3月業務予定について (2)令和5年度事業計画(案)について (3)令和5年度予算(案)について

開催年月日	開 催 内 容
R5.3.15	協議内容 (1)4月業務予定について (2)理事会、評議員会提出議案について (3)その他 •臨時業務打合せ会(人事異動内示)日程について •辞令交付式について
R5.3.27	人事異動内示

(2) 周知・説明活動の推進

①福祉員等会議の開催

コロナ禍の状況で開催を見合わせていた福祉員等会議を3年ぶりに開催し、福祉員や民生委員の方々から地域の状況や課題、意見等をお聞きし情報共有しました。

開催年月日	開 催 内 容
R4.7.5	第四学区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 第四まちづくりセンター ホール 出席者 福祉員 10名 民生委員・児童委員 10名
R4.7.20	第三学区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 第三まちづくりセンター 和室 出席者 福祉員 10名 民生委員・児童委員 10名
R4.7.28	第二学区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 第二まちづくりセンター 和室 出席者 福祉員 13名 民生委員・児童委員 8名
R4.7.29	第一学区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 第一まちづくりセンター 和室 出席者 福祉員 14名 民生委員・児童委員 7名
R4.8.31	狩川地区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 立川老人福祉センター 集会室 出席者 福祉員 11名 民生委員・児童委員 10名
R4.9.12	清川地区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 清川まちづくりセンター 和室 出席者 福祉員 11名 民生委員・児童委員 3名
R4.11.22	立谷沢地区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 立谷沢まちづくりセンター 交流室 出席者 福祉員 7名 民生委員・児童委員 3名

・庄内町民生委員児童委員協議会での周知

開催年月日	開 催 内 容
R4.5.26	庄内町民生委員・児童委員協議会 5月定例会 出席 開催場所 第四まちづくりセンター

②広報委員会の開催

開催年月日	開 催 内 容
R4.10.11	協議内容 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 広報委員 5名 (1)広報紙「福祉しようない社協」について (2)広報紙以外の広報活動について •ホームページについて

③出前講座の開催

※包括課で実施した講座となるため、庄内町地域包括支援センター事業報告書に記載となります。

(3)活動財源の確保

①会費収入の確保

地域福祉活動を実施するうえでの貴重な財源となる会費等について、町民の方々へ事業についてご理解とご協力を願いいたしました。

また、本会の目的に賛同いただける個人や事業所へもご理解とご協力を願いしました。

・口座振替の推進

実施年月日	実 施 内 容
R4.7.15	本会広報「福祉しようない社協」に掲載し、協力依頼
R4.8.5	社協会費納入依頼書発送時に口座振替申込書を同封し、協力依頼

・住民協力会費集落一括納付及び完納奨励金交付の実施

実施年月日	実 施 内 容
R5.1.20 ～	会費の一括納付及び完納集落に対し奨励金を交付し、円滑な納付の推進を図る。 一括納付対象集落 53集落 完納対象集落 47集落 一括納付及び完納対象集落 45集落 奨励金対象集落 53集落

・特別会員、賛助会員の拡充

実施年月日	実 施 内 容
R4.7.15	本会広報「福祉しようない社協」に掲載し、協力依頼

②赤い羽根共同募金運動への協力

毎年10月1日から全国一斉に共同募金運動が展開され、地域の方々や企業等に募金活動の協力をお願いいたしました。

・山形県共同募金会庄内町共同募金委員会運営委員会の開催

開催年月日	開 催 内 容
R4.6.8	第1回 運営委員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 運営委員 9名 (1)議案第1号 令和3年度庄内町共同募金委員会事業報告 (2)議案第2号 令和3年度庄内町共同募金委員会収支決算 (令和3年度共同募金及び歳末たすけあい募金実績) (監査報告) (3)議案第3号 令和4年度庄内町共同募金委員会事業計画 (4)議案第4号 令和4年度庄内町共同募金委員会収支予算 (令和4年度共同募金及び歳末たすけあい募金目標額)
R4.6.23	第2回 運営委員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 運営委員 7名 (1)議案第5号 運営委員の選任について (2)議案第6号 審査委員の選任について
R5.3.30	第3回 運営委員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 運営委員 11名 (1)議案第7号 運営委員の選任について (2)議案第8号 副会長の選任について (3)議案第9号 審査委員の選任について

・山形県共同募金会庄内町共同募金会監事会の実施

実施年月日	実 施 内 容
R4.5.25	実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 監事 2名 ・山形県共同募金会庄内町共同募金委員会 令和2年度会計決算処理状況について

・赤い羽根共同募金活動の実施

実施年月日	実 施 内 容
R4.10.1 ～12.31	共同募金運動の展開 ・戸別募金(各世帯)・法人募金等のお願い

・街頭募金の実施

実施年月日	実 施 内 容
R4.10.2	実施場所 しょうない秋まつり開催会場(町総合体育館周辺) 出席者 本会理事5名 職員 5名

・赤い羽根共同募金配分の状況

(単位:円)

募 金 内 訳	1. 戸別募金(各世帯)	2,673,000
	2. 街頭募金	20,105
	3. 法人募金(会社等)	479,000
	4. 職域募金(役場等)	37,721
	5. その他	10,300
	合　　計	3,220,126
配 分 内 訳	1. 令和5年度県内の施設等へ	1,211,000
	2. 令和5年度庄内町社協へ	2,009,126
	合　　計	3,220,126

2 地域福祉事業(総務福祉課)

(1) 地域ふれあい事業

①食事(配食)サービス事業

実施年月日	実　　施　　内　　容
R4. 4. 1～ R5. 3.31	食事(配食)サービス事業(立川) ・対象者 65才以上のひとりぐらし高齢者・夫婦世帯 身体障害者世帯等 希望者 28名 ・内 容 毎週火曜日・金曜日の昼食 ・実 績 延べ88回 1,106個
R4. 4. 1～ R5. 3.31	食事(配食)サービス事業(余目) ・対象者 65才以上のひとりぐらし高齢者・夫婦世帯 身体障害者世帯等 希望者 25名 ・内 容 毎週水曜日・金曜日の昼食 ・実 績 延べ98回 1,188個

○集落いきいきサロン活動

地区・学区ごとの普及率

※()内は、3年度との比較

区分	集落数	取組み集落数	普及率
全 体	115	70	60.9%
● 立 川	46	28 (-1)	60.9%
立谷沢地区	11	3 (-2)	
清川地区	14	10 (+1)	
狩川地区	21	15 (±0)	
● 余 目	69	42 (-2)	60.9%
第一学区	18	8 (-2)	
第二学区	18	13 (±0)	
第三学区	12	8 (±0)	
第四学区	21	13 (±0)	

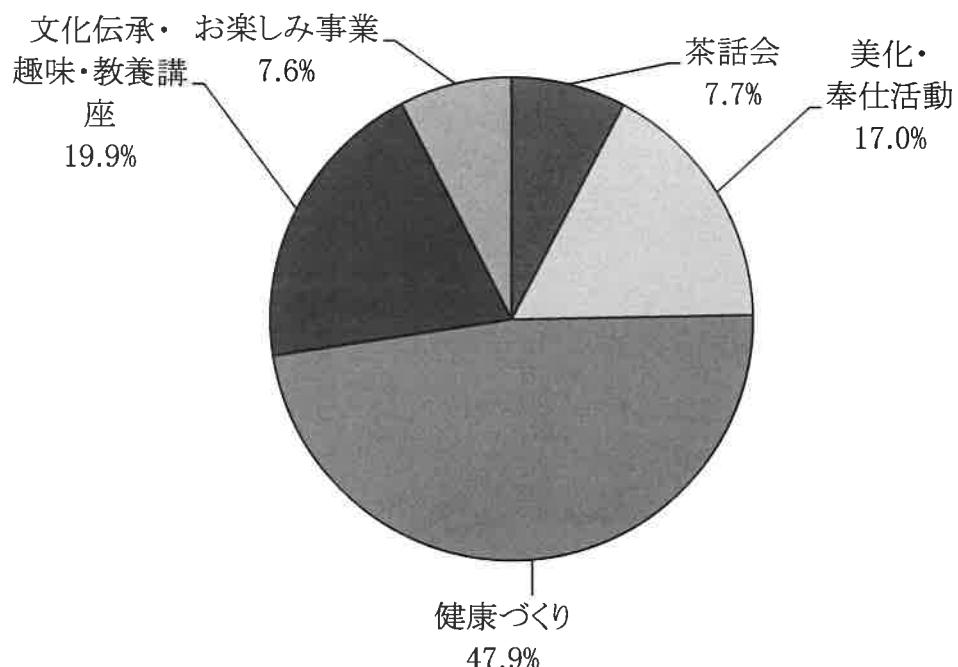
年度別活動集落数

年度	集落数
22年度	74
23年度	74
24年度	77
25年度	77
26年度	78
27年度	78
28年度	78
29年度	80
30年度	83
元年度	88
2年度	80
3年度	73
4年度	70

実施内容の分類

項目	内容
茶 話 会	集会所・公民館を利用し、おしゃべりやお茶飲みなどで楽しむ 計画(内容など)についての相談や反省会
美化、奉仕活動	花いっぱい運動・クリーンデー等の活動や、集落内の美観の維持などをかねてお茶飲み・食事会
健 康 づ く り	集落での軽スポーツやグラウンドゴルフ練習・大会 ストレッチ運動・脳トレ、生活習慣病の予防など、体力の維持・健康増進につながる教室を開催
文 化 伝 承 趣味・教養講座	「出前講座」、「病院の医療講演」、「交通安全教室」、地域の方のお話(講話)、陶芸や料理など趣味の教室や映画の観賞、集落に伝わる昔の行事等の伝承による世代交流など
お 楽 し み 事 業	お花見、芋煮会、忘・新年会などの季節の行事 町内外の施設見学や温泉保養など

集落いきいきサロン活動内容の比較



令和4年度いきいきサロン活動実施内訳

実施回数 延べ936回

茶話会	美化・奉仕活動	健康づくり	文化伝承・趣味・教養講座	お楽しみ事業
72	159	448	186	71

936

(2)生活困窮世帯等支援事業

①生活福祉資金貸付制度（県社協からの受託）

令和2年度からのコロナ感染症特例貸付制度については、令和4年9月30日で申請受付が終了しました。今後は貸付された世帯の状況の確認等のフォローアップ支援が重要となります。

資 金 種 別		貸付件数	貸付金額	据置件数	据置金額	滞納件数
福祉資金	福祉費	7	4,389,000	0	0	3
	緊急小口	6	359,000	1	64,000	4
	緊急小口（コロナ特例）	22	3,909,000	4	700,000	1
教育支援資金	教育支援費	18	35,554,000	5	7,260,000	0
	就学支援費	23	8,583,000	7	2,475,000	3
総合支援資金	総合支援資金	2	3,020,000	0	0	2
	コロナ特例	18	8,580,000	3	1,530,000	0
計		96	64,394,000	20	12,029,000	13

内 令和4年度新規貸付

資金種別		貸付件数	貸付金額	据置件数	据置金額
福祉資金	福祉費	1	287,000	0	0
	緊急小口	1	64,000	1	64,000
	緊急小口（コロナ特例）	4	700,000	4	700,000
教育支援資金	教育支援費	3	4,380,000	3	4,380,000
	就学支援費	3	1,250,000	3	1,250,000
総合支援資金	総合支援資金	0	0	0	0
	コロナ特例	3	1,530,000	3	1,530,000
合 計		15	8,211,000	14	7,924,000

コロナ特例貸付償還免除件数

※借受人と世帯主が均等割・所得割いずれも前年度住民税非課税であれば償還免除の対象となります。

資 金 種 別		貸付件数	貸付金額
福祉資金	緊急小口（コロナ特例）	17	3,300,000
総合支援資金	コロナ特例	8	4,100,000

②福祉資金貸付状況

貸付状況

貸付原資	貸付件数	貸付金額	貸付限度額	貸付期間	備考
1,000,000 円	13 件	545,000 円	1 件 50,000 円	10ヶ月	利子(無利子)保証人(1名)

償還状況

過年度貸付繰越額	本年度貸付額	計	本年度償還額	不納欠損	未償還額(貸付中)	原資繰越額
16 件	13 件	29 件	14 件	0 件	16 件	
369,000 円	545,000 円	914,000 円	479,000 円	0 円	435,000 円	565,000 円

③生活援護金の支給

実施年月日	実施内容	
R4.8.9	生活援護金支給	162世帯 1,405,000円

④歳末たすけあい運動募金活動の実施

実施年月日	実施内容
R4.11.1 ～12.31	歳末たすけあい運動募金の展開 ・戸別募金(各世帯)、職域募金、学校募金等のお願い
R4.12.12	歳末たすけあい運動募金配分委員会 開催場所 庄内町余目老人福祉センター
R4.12.26 ～12.28	歳末たすけあい運動募金配分

・歳末たすけあい運動募金配分の状況

(単位:円)

募 金 内 訳	1. 戸別募金(各世帯)	2,008,567
	2. 職域募金(事業所等)	98,678
	3. 学校募金(児童・生徒・教職員)	109,813
	4. 篤志募金(篤志者等)	85,751
	合 計	2,302,809
内配 訳分	1. 低所得者援護	2,254,000
	合 計	2,254,000

収入支出差引残金 48,809円は、令和5年度庄内町社会福祉協議会地域福祉活動費として配分予定

・ご寄贈いただいた物品

福祉餅(丸もち500g入) 175袋 余目町農業協同組合様
精米(2kg入他) 約1,000kg
あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト実行委員会様

対象世帯へ贈呈

(3) 総合相談事業

・法律相談の実績

日常生活に直面する法律的諸問題のうち、その解決に専門的な法律の知識を要するものについて、弁護士による適切な指導助言を受け問題解決を図るため、法律相談を年間6回実施しました。

○余目会場

開設日数	4 日		利用率		87.5%					R3 計 12	
相談利用者	14 名 (男性 5 名 女性 9 名)										
NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
相談内容	財産	契約	消費賃借	賃貸借	消費者被害	損害賠償	離婚	相続	その他		
件数		1	1	2				7	3		

○立川会場

開設日数	2 日		利用率		75.0%					R3 計 6	
相談利用者	6 名 (男性 1 名 女性 5 名)										
NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
相談内容	財産	契約	消費賃借	賃貸借	消費者被害	損害賠償	離婚	相続	その他		
件数								5	1		

(4) ボランティア推進事業

ボランティア活動の推進において、ボランティアセンターの運営、ボランティアに関する相談窓口、連絡調整などの事業推進を図りました。

実施年月日	実 施 内 容
R4. 4. 1～ R5. 3.31	社協ボランティアセンター 設置場所 立川老人福祉センター ・ボランティアの相談窓口・連絡調整
R4.7.28、8.4	手話教室(全2回実施) ・今年度対象 余目第二学区学童、庄内町全域 ・開催場所 余目第二まちづくりセンター ・講師 山形県聴覚障害者協会庄内支部 三ツ澤 幸 氏 (庄内町手話通訳者) 荒木 伸一郎 氏 ・参加延べ人数 124名 (R3:2回実施延べ115名)

実施年月日	実施内容
R4.9.10	庄内町ボランティア連絡協議会交流研修会 ・社協共催 防災イベント「BOUSAI☆GO」 ・開催場所 立川老人福祉センター ・参加人数 122名
R4.7.6	広げようボランティアの輪連絡会議総会 ・開催場所 酒田市地域福祉センター
R4.10.23	広げようボランティアの輪連絡会議研修交流会 ・鶴岡・田川地区高校生ボランティア交流会
R4.10.31	庄内町社協職員災害ボランティアセンター運営研修会 ・災害ボランティアセンターについて ・災害ボラセンのレイアウト検討 NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワーク 代表 早坂 信一 氏 ・開催場所 立川老人福祉センター ・参加数 職員 15名
R4.11.15	庄内町ボランティア連絡協議会研修会 ・講演 お蓮没後160周年記念『お蓮の生涯』 ・講師 清河八郎記念館 館長 廣田 幸記 氏 ・開催場所 立川老人福祉センター集会室
R4.11.18	庄内町災害ボランティアセンター設置運営研修会 ・「災害ボランティアセンターの役割」 NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワーク 代表 早坂 信一 氏 ・設置運営訓練(ロールプレイ) ・開催場所 立川老人福祉センター ・参加人数 30名

(6) 広報活動

①社協広報発行の状況

令和4年度は年3回 広報発行しました。

実施年月日	実施内容
R4.7.15	広報「福祉しようない社協」第47号発行
R4.11.15	広報「福祉しようない社協」第48号発行
R5.3.15	広報「福祉しようない社協」第49号発行

②社協ホームページ閲覧の状況

実施年月日	件 数
R4. 4. 1～ R5. 3.31	ホームページ閲覧ページ数 15,643件(月平均1,304件)

(7) 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)の状況(県社協から受託)

実施年月日	実 施 内 容
R4.4.1～ R4.3.31	サービス利用者 9名 基幹的社協専門員(3名)・生活支援員(4名)との連携により支援
R4.8.3	基幹的社会福祉協議会専門員連絡会議 出席:専門員1名(オンラインによる研修会)
R4.10.17	専門員実務者研修会 出席:専門員1名
R4.11.4	生活支援員・担当職員研修会 出席:生活支援員1名、専門員2名
R5.3.2	基幹的社会福祉協議会事務局長会議 オンラインによる会議

・研修、会議等参加の状況

年月日	研 修 ・ 会 議 等 内 容	開催場所
R4.4.15	庄内町老人クラブ連合会総会	立川老人福祉センター
R4.4.20	立川身体障害者福祉協議会総会	立川老人福祉センター
R4.4.21	市町村社協事務局長会議	オンライン
R4.4.22	庄内町民生委員児童委員協議会総会	第四まちづくりセンター
R4.4.24	ボランティアすまいる「にこにこ食堂」総会	第三まちづくりセンター
R4.4.26	余目身体障害者福祉会総会	余目老人福祉センター
R4.5.6	庄内町自治会長会総会	響ホール
R4.5.19	庄内町手をつなぐ育成会総会	立川老人福祉センター
R4.5.19	庄内町ボランティア連絡協議会総会	立川老人福祉センター
R4.5.23	庄内町青少年育成町民会議	第四まちづくりセンター
R4.6.9～10	防火管理者研修会	鶴岡勤労者会館
R4.6.21	県社会福祉協議会評議員会	オンライン
R4.6.27	市町村社協新任職員研修	県社協
R4.6.27	庄内町地域包括支援センター運営協議会	役場B棟
R4.7.16	庄内町老人クラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会	ひだまり
R4.7.18	庄内町手をつなぐ育成会「パラパラリンピック」	体育センター
R4.7.28	災害ボランティアセンター研修会(基礎編)	オンライン
R4.8.10	社会福祉法人会計セミナー	オンライン
R4.8.30	市町村社協ボランティア担当者会議	オンライン
R4.9.2	山形県共同募金会事務局長会議	オンライン
R4.9.10	余目第一学区計画検討委員会	第一まちづくりセンター
R4.9.13	社会保険事務講習会	公益大
R4.9.30	市町村社協総務担当者	オンライン

年月日	研修・会議等内 容	開催場所
R4.10.12	ボランティアすまいる視察研修	栃木県足利市
R4.10.23	庄内町総合防災訓練	第四まちづくりセンター周辺
R4.11.7	高齢者見守りネットワーク会議	役場B棟
R4.11.9	市町村社協会長等会議	酒田勤労者センター
R4.11.16	市町村社協ボランティア担当者会議	県社協
R4.11.16	庄内町自治会長会研修会	響ホール
R4.11.21	山形県民福祉大会	新庄市
R4.11.23	手をつなぐ育成会茶話会	第三まちづくりセンター
R4.11.24	庄内町民生委員児童委員協議会離散会	第一ホテル鶴岡
R4.11.30	ボランティア担当者ネットワーク会議	県建設会館
R5.2.14	庄内町地域公共交通会議	役場B棟
R5.2.21	庄内町地域包括支援センター運営協議会	役場B棟
R5.2.24	山形県共同募金会事務局長会議	オンライン
R5.2.27	相談員スキルアップ研修会	県自治会館
R5.3.6	生活福祉資金市町村システム説明会	オンライン
R5.3.8	災害ボランティアセンター運営スキルアップ研修会	県看護協会
R5.3.9	身近な地域での福祉活動を進めるための担い手養成研修会	ビッグウイング
R5.3.13	令和4年度山形県福祉共育セミナー	県自治会館
R5.3.27	県社会福祉協議会評議員会	オンライン

3 生活支援事業（総務福祉課）

（1）生活困窮者等相談支援事業

①生活困窮者等相談事業の相談業務

・一時的な相談支援について

生活困窮者等相談支援員1人を庄内町福祉総合相談センターに配置し、生活困窮者等相談業務を実施しました。相談件数は、延べ1,140件で、相談者数は166名でした。ご本人からの収入・生活費の相談が一番多く、次いで支払い相談が大半を占めています。相談者が必要とする支援・制度にお繋ぎできるよう、お困りである相談者の思いに寄り添った相談対応を心掛けました。

自立相談支援機関により支援が必要になった場合は生活自立支援センターさかたへお繋ぎし、連携しながら継続的に支援を実施しました。地域住民の相談窓口である民生委員から相談があつた場合には一緒に訪問するなど、地域とのネットワークづくりを構築しました。

要保護者になる恐れが高い相談者への生活保護制度の情報提供や助言については、庄内町保健福祉課福祉係と連携して対応しております。加えて、高齢者・障害者等の生活困窮状態の解消や生活再建についても、庄内町福祉総合相談センターの機能を生かしながら、地域包括支援センターや障害者相談支援センター、庄内町役場各課と連携した相談対応に努めることができました。

また、今年度は山形県生活困窮者等食料品等提供活動支援事業の補助金を活用した食糧支援を実施し、相談者の課題に添った早急な食糧支援に取組んでまいりました。これまででは、寄附による確保された食料や生活自立支援センターさかたより食料を提供していただいた上での支援となっていましたが、配布用の食料品等を新たに購入し食糧支援の量と質の拡大を図ったことで、相談時にその場で食料提供ができ、相談者の不安や支出の軽減を図ることが出来ました。

（2）都道府県との連携調査・支援のサポート

相談内容により、下記の関係機関と連携を図り支援を実施しました。

生活自立支援センターさかたが主催する支援調整会議では、支援終結にあたるフォローアップを行ったほか、継続的な支援が必要な方への相談体制の整備に努めました。

食糧支援関係では、やまがた福わたしが主催するフードバンク関連の研修会に参加しました。フードバンクとフードドライブについて学んだことで、食糧支援を展開するうえで知識が身につきました。

◎連携した関係機関

法人・公的機関

山形県社協、庄内町役場、庄内町社協（障害者相談支援センター、地域包括支援センター、介護センターほほえみ、障害者多機能型施設ひまわり園）、酒田市社協（生活自立支援センターさかた）、鶴岡市社協（くらしステーション）、庄内総合支庁、ハローワーク酒田、庄内障害者就業・生活支援センターかでる、余目郵便局、福祉施設（こもれび、ドレミファ、くじら、光風園、徳洲苑、山水園、ひなみ家、きずな等）、訪問介護ステーション（アジュダンテ、いのちの華）、病院医療相談室（日本海総合病院、庄内余目病院）、やまがた福わたし、庄内町シルベ一人材センター、やまがた絆の架け橋ネットワーク 等

地域資源 庄内町民生委員・児童委員、福祉サービス利用援助事業、庄内町ひきこもり相談会

その他 余目町農業協同組合、庄内たがわ農業協同組合、株安藤組、株丸大不動産、東北農政局
鶴岡信用金庫 等

◎参加した会議・研修等

個別ケース会議、要保護児童対策地域協議会、生活自立支援センターさかた支援調整会議、庄内地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会、庄内町ひきこもり相談会支援調整会議、フードドライブ研修会、生活福祉資金担当者会議、庄内町民生委員推薦会、やまがた福わたり実施研修会、フードバンク贈呈式、庄内町居宅介護支援事業所連絡会・事例検討会、災害ボランティア研修会、歳末たすけあい運動募金配分委員会、生活困窮者自立支援全国研究交流大会

③町長が必要と認める支援

コロナの影響を受けた相談者や継続した生活困窮状態にある相談者に対して、生活の安定と経済的負担の軽減を図るために町で実施された、「庄内町生活困窮者世帯コロナ対応生活応援事業」に協力しました。生活困窮者の情報提供や名簿の作成、連絡調整や状況報告を行いました。

1. 相談者数

実人数	延べ人数
166	1,140

2. 相談方法(主たるものに1カウント)

方法	来所	電話	訪問	関係機関	その他	計
件数	215	414	45	411	55	1,140

3. 相談内容(主たるものに1カウント)

内容	収入・生活費のこと	支払いのこと	仕事のこと	食べ物がない	金銭管理について
件数	486	207	103	42	22

内容	家族関係のこと	その他	計
件数	36	244	1,140

4. つなぎ先(主たるものに1カウント)

内容	情報提供・傾聴	生活自立支援センターさかた	県社協貸付	町社協貸付	その他	計
件数	1,062	31	14	12	21	1,140

5. 月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	105	107	118	102	76	78	101	101	87

月	1月	2月	3月	計
件数	105	76	84	1,140

(2) 障害者相談支援事業（庄内町障害者相談支援センター）

① 障害者相談支援事業について

- ・福祉サービスの利用援助（情報提供、相談等）
- ・社会資源を活用するための支援（各種支援施策に関する助言、指導等）
- ・社会生活力を高めるための支援
- ・権利擁護のために必要な援助
- ・専門機関の紹介
- ・地域自立支援協議会の運営の協力
- ・専門的な相談支援を要する困難ケース等への対応

当センターは、「障害者総合支援法」に基づく、身体・知的・精神、その他障がいに対応している一般相談支援事業所です。庄内町における障がい児・者（以下当事者）やご家族の方々が、お気軽に相談していただけるように事業実施をしております。令和2年5月より庄内町福祉総合相談センターが開設し、地域包括支援センター、生活困窮者等相談、ひきこもり相談の各相談窓口と連携し、複合的な課題を抱えている当事者やご家族に対して支援をしております。

相談件数は、2,030件でした。精神障害の方からの相談が約半数を占めており最も多く、当事者の精神状態や希望にあわせた対応を心掛けました。また、障害種別に関わらず関係機関と連携しながら、当事者の方が必要とする支援が受けられるように対応して参りました。

当事者の状態に応じたニーズを見極め、地域で当事者を支えるネットワークの構築を図ることで継続した支援に繋がると考えます。当センターでは当事者の方々が、住み慣れた地域での安心した暮らしを送るために地域で何ができるのかを協議する地域自立支援協議会を庄内町と共同で開催しております。

調整会議には、地域の関係機関の連携強化のため、町内の障がい福祉サービス事業所に参加していただきました。庄内町 SUN×SUN バザーの取り組みや庄内町自立支援協議会の今後のあり方、また、「庄内町障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」等の法律改正内容などについて確認しました。今年度は、令和5年度からの地域生活支援拠点整備事業の運用にむけて、庄内町と情報共有を行いました。町外の拠点整備の現状について情報共有をしながら、緊急時や親亡き後に備えて町としてどのような支援をしていくのかについて検討いたしました。

◎庄内町地域自立支援協議会 実績（全2回）

会議・部会名	開催日	開催回数
調整会議	7月11日（月）	2回
	3月24日（金）	

◎参加した会議・研修会等

困難を有する子ども・若者支援にかかる市町村担当者会議、庄内地域若者自立支援ネットワーク会議・子ども・若者支援協議会庄内地域交流研修会・ひきこもり支援ネットワーク会議、障がい者就労活動活性化協議会並びに庄内就業・生活支援センター連絡協議会、鶴岡高等養護学校業務連絡会議、地域生活支援セミナーIN庄内、市町村職員を対象とするセミナー「ひきこもり支援の推進について」、庄内町保健医療福祉推進委員会、鶴岡高等養護学校就労支援連絡会、子ども虐待防止講演会、なないろの会、インターバル実習研修、民生委員児童委員協議会厚生部会研修会、山形県障がい者相談支援現任者研修、基幹相談支援センター情報交換会、障害支援区分認定調査員研修、ひきこもり支援初任者研修、ひきこもりサポート一養成講座、山形県高次脳機能障がい研修会、障がい者虐待防止・権利擁護研修、ペアレント・トレーニング

◎連携した関係機関

行政機関：山形県・鶴岡市・酒田市・庄内町・三川町・庄内総合支庁

公的機関：庄内警察署・ハローワーク・障害者就業・生活支援センター・庄内地域若者サポートステーション・生活自立支援センターさかた・庄内職業能力開発センター

障がい福祉関係機関等：サービス支援事業所、特定相談支援事業所、介護支援事業所

医療機関：医療相談室・医療連携室

教育機関：小・中・高等学校（特別支援学級含む）、特別支援学校、庄内町教育委員会

地域資源：障がい児・者親子の会たんぽぽの会、あっとほーむ、民生・児童委員、福祉サービス利用援助事業、庄内町ひきこもり相談会、ひらたタウンセンター、山形県身体障害者協会

② 基幹相談支援センター事業について

・総合的、専門的な相談支援の実施

昨今の状況としては、当事者だけでなく家族全体で複合的な課題を抱えているケースが多くなっており、障がいに限らず多職種と連携して包括的な支援体制を構築する必要があります。また、親亡き後の支援体制の強化も必要となっており、障がいをお持ちの方が住み慣れた地域で暮らしていくためにも町民の方への障がいに対する周知が重要となっております。また、その実現に向け、町内に限らず広域的な社会資源や福祉サービスなどの情報収集にもより一層力を入れながら地域に開かれ且つ地域から信頼される事業所を目指して参ります。

・地域の相談支援体制の強化の取組

障がい福祉サービスをご利用になる当事者は特定相談支援事業所により「サービス等利用計画」が作成され、庄内町から支給決定を受けることでサービス受給者証が交付されます。当センターでは、「サービス等利用計画（案）」の段階で当事者のニーズに合ったサービス利用であるか、必要なモニタリング（計画に照らして状況把握を行い、決められたサービスや支援が提供されているかのチェック）の時期設定であるか等、庄内町とサービス等利用計画会議を開催し協議しています。これらは、障がい特性に応じたサービス利用を支援するとともに、サービスの適正利用にも繋がっております。

開催場所：庄内町役場

参考者：庄内町保健福祉課福祉係長・身体・知的・精神障がい各担当、庄内町障害者相談支援センター相談員

◎サービス等利用計画会議開催実績（全12回）

上半期 全6回	検討件数	下半期 全6回	検討件数
4月25日（月）	10件	10月28日（金）	6件
5月30日（月）	13件	11月25日（金）	12件
6月27日（月）	22件	12月26日（月）	12件
7月28日（木）	17件	1月27日（金）	14件
8月26日（金）	13件	2月27日（月）	11件
9月28日（水）	23件	3月27日（月）	59件

山形県立こころの医療センター臨床心理士を講師に迎え、障がい児とのより良い関わり方を学ぶペアレント・トレーニングの講座を全5回開催しました。また、講座終了から3か月後に、講座の効果や生活での困りごと等を確認するフィードバックの会を1回開催しました。受講対象者の選定時には、庄内町教育委員会、健康推進係、子育て応援課、児童発達支援係と連携を行い、必要な方に講座を受講して頂けるように調整致しました。今年度は3名の方から参加いただき、お子さんとの関わりの中できちんとしたことでも褒めることを意識することができたとの声が聞かれました。

・地域移行、地域定着支援会議

精神科病棟に入院していた当事者が、地域に戻り安心して生活できるように町や共同生活援助事業所、相談支援事業所、医療機関等の関係機関と情報共有を密に行い、連携を図りながら地域に定着できるよう

支援を行いました。

当事者やご家族が地域にある社会資源を把握すること、受け入れ側である地域の皆様に障がいについて理解をいただくことを目的に障がい児・者サービス事業所見学会を3回開催しました。新型コロナウイルス感染症対策をした上で、町内2ヶ所、酒田市4ヶ所の事業所に、家族会や民生委員・児童委員などの皆様と共に訪問しました。今後も社会資源や障がいに関する周知と啓発の活動を検討して参ります。

・権利擁護・虐待の防止

今年度は、当事者や家族から町に対して虐待関連の相談が数件ありました。そのたびに町や関係機関と連携し当事者や家族の安全の確保を速やかに行いました。令和4年度のケースに関しては、その後町に家庭状況や本人の状態等を精査していただき、虐待と判断されるケースはありませんでした。

令和4年度 庄内町障害者相談支援センター相談実績

障がい種別

	実人数	延人数	身体 障がい	重症 心身 障がい	知的 障がい	精神 障がい	発達 障がい	高次脳 機能 障がい	難病	その他
障がい児	4	13	2	0	11	0	0	0	0	0
障がい者	110	2,017	165	0	666	1,033	21	33	4	95
合 計	114	2,030	167	0	677	1,033	21	33	4	95

2 相談方法(主たるものに1カウント)

方法	訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	167	113	59	543	171	23	953	1	2,030

3 相談内容(主たるものに1カウント)

内容	福祉 サービス の利用	障害や 病状の 理解	健康・ 医療	不安の 解消・情 緒安定	保育・ 教育	家族・人 間関係	家計・ 経済	生活 技術	就労 支援
件数	490	9	302	499	6	169	162	87	251
内容	社会参 加・余暇 活動	権利 擁護	その他	計					
件数	50	3	3	2,030					

4 月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
相談件数	148	146	193	196	178	195
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談件数	160	146	176	152	156	184

(3) ひきこもり対策推進事業（ひきこもりサポート事業）

① 概要

平成28年度から庄内町にてひきこもり対策推進事業（ひきこもりサポート事業）を実施しておりましたが、令和元年度より当事業事務局業務を庄内町から委託を受けて庄内町障害者相談支援センターで事業実施をしております。相談会には山形県で実施しているひきこもり相談支援者専門研修会を受講したひきこもりサポートー2名と当センターの相談員に加え、アドバイザーとして県から若者相談支援拠点設置運営事業を委託されている多機能福祉施設こもれびの相談員から協力していただきました。相談会で聞き取りした内容の状況に応じ、関係機関と情報共有を図りながら支援を検討いたしました。相談会だけではなく、訪問や手紙でアプローチをするケースもあり、当事者の外出の機会づくりを行いました。また、対面や電話に不安を抱える当事者に寄り添い、LINEを活用したケースもありました。相談会には出てくることは難しい一方で、自身のひきこもり状態への不安を抱えている方等のニーズにあわせた支援を提供できるよう、今後も対応方法を検討していきたいと考えております。

当事者の居場所支援として、多機能福祉施設こもれびと共同でフリースペースひなたを運営しました。外に出ることに不安を抱える方の一歩目の居場所として、フリースペースを提供し参加者の希望によりボードゲームなどをして過ごしました。

② 相談会・フリースペースひなた実績

ひきこもり相談会は毎月2回（余目・立川）開催いたしました。今年度3月末時点では継続ケースは7件、その内新規ケースは1件でした。年度内に他事業所にお繋ぎし、終結したケースも1件ありました。

来所される方のほとんどは当事者の母親であり、相談会では当事者の自宅での様子や日頃の思いを傾聴し、時には自宅での関わり方等の助言を行いました。相談会には母親が来所し、当事者は若者相談支援拠点（こもれび）に相談しているケースでは、相談会と若者相談支援拠点と連携し、一相談機関で抱え込まない体制の構築に努めました。また、フリースペースひなたは月1回（余目・立川隔月）開催いたしました。当事者の特技を生かし、町のイベントと絡めて社会参加の場を提供したケースもありました。9月2日は家族教室を予定していましたが新型コロナウイルスの影響などにより参加者はおらず、後日相談会で対応いたしました。

③ 調整会議実績

ひきこもり相談会では情報共有と今後の支援の方向性等を検討するため、関係機関を入れて協議する調整会議を今年度は4回開催いたしました。それぞれが持っている情報を共有し、各分野の専門的な見解をいただきながらケース検討を行いました。また、終結ケースなどにおいても情報共有し、フォローアップ体制の整備を行いました。

参考範囲：ひきこもりサポートー、庄内町保健福祉課福祉係、健康推進係、庄内町教育委員会、生活困窮者等相談支援員、地域活動支援センター、多機能福祉施設こもれび、庄内町障害者相談支援センター

◎開催実績

開催日	場所	検討内容
6月29日（水）	庄内町役場B棟会議室4	・現状報告（継続ケース7件、新規ケース1件） ・令和4年度ひきこもり相談会について
10月14日（金）	庄内町役場B棟会議室5	・現状報告（継続ケース3件）
11月14日（月）	庄内町役場B棟会議室1	・現状報告（継続ケース7件 終結ケース1件） ・ひきこもりアンケートの結果について
3月10日（金）	庄内町役場B棟会議室1	・現状報告（継続ケース7件） ・フリースペースひなたについて ・令和5年度ひきこもり相談会について

4 庄内町地域包括支援センター事業

職員体制は、主任介護支援専門員 2 名、保健師 2 名、社会福祉士 2 名にて、余目、立川で業務を行いました。保健師 2 名の内 1 名は庄内町（以下「町」と記載）から派遣をいただき、高齢者の介護や暮らしに関する相談に応じました。

1. 地域包括支援センターの運営に関わる事業

（1）包括的支援事業

相談等件数は合計 2,051 件でした。

表 1) 相談件数（介護予防支援事業を除外）（延数）

担当	相談区分		相談方法				件数
	新規	継続	電話	来所	訪問	その他	
R2 年度	275	1,705	973	273	640	94	1,980
R3 年度	347	1,584	899	256	671	105	1,931
R4 年度	355	1,696	1,069	287	621	74	2,051

① 総合相談支援業務（1 件の相談で①～③の複数の対応をしている場合有り）

総数 1,297 件（前年度 1,245 件）で、本人からの相談が 427 件で、介護申請・施設入所等（総合事業含む）相談 80 件、実態把握 158 件、介護予防・健康・医療等 20 件、その他のサービス利用支援 48 件でした。家族介護者からの相談は 512 件。内容で最も多いのは介護申請・施設入所等 308 件となっています。地域・医療機関からの相談は 269 件で、そのうち、サービス利用・施設入所 82 件、在宅医療介護等（入退院相談）が 89 件となっています。R3 年度に比較して新規相談が若干増えています。

② 権利擁護業務

総数 303 件（前年度 321 件）の内、困難事例対応 245 件（前年度 229 件）、高齢者虐待対応 30 件、成年後見制度関係対応 16 件でした。

高齢者の財産管理についてはリーガルサポートを通して司法書士に相談するなどして対応しました。社会福祉協議会の福祉サービス利用援助事業担当者と相談したケースがありました。また、介護支援専門員からの相談を受け、町と話し合いを行い、町長申し立てに繋がるケースがありました。

権利擁護関連勉強会を開催し、庄内警察署生活安全課より「高齢化の進展と警察活動」と題しご講義いただきました。

消費者被害防止の取組としては、町内の居宅介護支援事業所にメールにて月 1 回庄内消費生活センター情報紙を提供しました。

町の環境防災課と県が共催する「消費者力アップ事業」～落語で学ぶ悪質商法撃退法～に出席し、事例を紹介しました。

高齢者虐待対応については、通報のあったケースの状況確認等を町と一緒にを行い、受理会議やモニタリング会議に出席しながら対応にあたっています。また、毎年県が開催している情報交換会現任研修に参加しています。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

総数 453 件（前年度 391 件）の内、主なものとして介護支援専門員支援・相談 109 件、地域連携・協力 58 件、支援困難事例指導・助言 45 件でした。

事務局として居宅介護支援事業所等連絡会を開催し、情報共有を図りました。

地域見守り会議については 1 月に第五地区にて開催しましたが、その後はコロナ禍の状況

を鑑み実施できませんでした。

地域ケア個別会議の開催は関係機関の協力を得て2回開催し、その内容から地域課題を整理しました。

(2) その他の包括的支援事業

① 在宅医療・介護連携推進事業

地域の在宅医療・介護連携の相談窓口として、医療機関やご家族から入退院時の際の相談を受け、介護保険申請代行等を行いながら支援しました。

② 地域ケア会議推進事業

町が開催する自立支援型地域ケア会議では、助言者として異なる専門職種2名が毎月参加しています。

③ 認知症総合支援事業

- ・認知症地域支援推進員の配置

余目と立川の各センターに1名ずつ職員を配置して認知症地域支援推進員として活動しております、地域の通いの場等から依頼を受けて、認知症について出前講座を行っています。

- ・住民を対象にした相談・交流の場の開催

認知症地域支援推進員が町へ協力して、認知症カフェを余目地域で毎月開催しました。立川地域では物忘れ相談会を毎月開催しています。

- ・認知症初期集中支援チームへの協力

町から協力依頼を受け、チーム員としてケースに関わり支援を継続しています。

④ 生活支援体制整備事業

地域資源や課題の把握として、集落サロン等の高齢者の集まりの場へ訪問、出前講座には生活支援コーディネーターも同行し、助け合いの必要性の説明や聞き取りを実施しました。また、地域の自主組織に対して、活動実態の把握や情報提供等を行い、活動充実に向けた支援を行いました。令和4年度に公民館がまちづくりセンターへ移行したことから、地域運営組織における地区計画策定や部会の会議等に出席し、関係づくり・情報共有を行っています。

新たな住民主体事業にかかる団体の活動支援として、地域住民による支え合い活動の理解や担い手養成を目的とした「担い手養成講座」を開催し、全2回で参加者計15名となっています。また、高齢者の社会参加、支え合い活動への地域住民の意欲向上を目的とした「助け合いの地域づくり勉強会」も開催し、参加者22名となりました。

地域への情報提供、活動報告として、生活支援コーディネーターだよりを3回発行し、全町回覧、各集落の自治会長や民生委員・児童委員、各学区まちづくりセンターに配布しています。

事業項目	区分	回数	内容
生活支援協議体	全体会議	2	生活支援体制整備協議体勉強会 生活支援体制整備協議体会議
	地縁団体会議	7	余目第一学区(地区計画策定委員会、明日をつくる語り合い)、第二学区(未来計画づくり会)、青森のまちづくり運営協議会(環境・福祉部会)、狩川・第三地区ビジョン報告会

生活支援コーディネート業務	地域実態把握	108	はっぴいサポート、ひょうたん島、18ネットワーク健康教室、和合の里を創る会、健サロン、ほっとひと息カフェ、ぐるっと健康広場、おたのしみ会(提興屋、御殿町いきいき百歳体操おもと会、健康100歳クラブ、駅前百才体操の会(余目)、あやめ会(家根合)、紅(くれない)(茶屋町)、廿六木いきいきサロン、101健康クラブ(東一番町)、こいで葉サロン(小出新田)、前田野目いきいきクラブ、いけいけ百歳体操(西袋)、サロン緑町(立川)、ふれあい(貢地目)、囲町いきいきサロン、今岡元気俱楽部、仲良しサロン(清川幸町)、清川百歳体操の会、南町いきいきサロン、川端いきいきサロン、お茶のみ会(肝煎)、健康体操サプナ、地域おこし協力隊、悠遊塾、狩川松寿大学、キラキラシニア塾、タチラボレディース、いきいき楽笑会、第五地区地域見守り会議、各地域まちづくりセンター、酒田市通いの場等視察
	地域活動支援普及	7	大真木老人クラブ、みかわの支え合いと地域づくりを考える研修会、生活支援体制整備協議体会議、若葉会(興野)、西野いきいきクラブ(西野)、おたのしみ会(提興屋)、駅前才体操の会(余目)
	サロン等住民主体事業支援	25	助け合いの地域づくり勉強会、住民主体による活動実施団体向け研修会、移動支援実施団体情報交換会、はっぴいサポート、和合の里を創る会、健サロン、ひょうたん島等
	生活支援サービス把握	10	生活支援民間業者サービス調査、立谷沢地区工藤沢移動販売情報収集
多様な日常生活支援・社会参加推進	担い手養成講座	2	担い手養成講座
	地域資源発掘ワークショップ	1	担い手養成講座

(3) 任意事業

① 家族介護支援事業

認知症高齢者見守り事業（徘徊高齢者事前登録事業）は、警察や介護支援専門員等の関係者からの依頼や相談を受け、登録手続きを支援しています。

8月には余目第一まちづくりセンターにて町が実施する高齢者徘徊声かけ訓練へ協力しました。11月には町が実施する家族介護者交流会へ協力しました。

② 認知症サポーター養成講座への協力

町が実施する認知症サポーター養成講座にて、町内の小中学校に出向き、講話や寸劇に協力しました。

③ その他の事業

町のケアプラン点検の実施に主任介護支援専門員 2 名が協力しました。町内の居宅介護支援事業所と包括支援センターがプラン提出し、より質の高いケアプラン作成を目指して取り組みました。

2. 指定介護予防支援事業

介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務

新規利用の方が年間通して 60 件（前年度 80 件）でした。

ケアマネジメント C は 0 件ですが、通所型サービス B（住民主体による通いの場）に通所する方やしやんしやん便利便、はっぴいサポートの利用については他のケアマネジメントに資源として位置づけながら利用しています。

ケアプラン数は年々減少傾向になっており、直営と委託のプラン数の割合は、約 54% が直営となっています。

表 2) ケアプラン作成数（各月プラン料請求件数、月遅れの請求を含ます。単位：件）

	ジ メ ン ト A ① ケ ア マ ネ	ジ メ ン ト B ② ケ ア マ ネ	ジ メ ン ト C ③ ケ ア マ ネ	(要 支 援 1) ④ 予 防 支 援	(要 支 援 2) ⑤ 予 防 支 援	① ～ ⑤ 合 計	直 営	委 託	新 規
R2 年度	763	259	4	470	688	2,260	1,136	1,124	95
R3 年度	837	235	2	523	764	2,361	1,237	1,124	80
R4 年度	699	197	0	529	630	2,055	1,110	945	60

3. 一般介護予防事業業務

介護予防の普及啓発として、地域の老人クラブや認知症カフェなどに出向いて出前講座を開催しました。

4. 現状と今後について

令和 3 年度と比較して新規の相談件数が増えており、継続支援が必要な困難事例への対応が増加しています。

様々な課題を抱えて生活している高齢者には、民生委員を始めとする地域のネットワークや障害者相談支援センター、生活困窮者等相談支援員と協力して支援しています。また金銭管理については福祉サービス利用援助事業や成年後見制度利用支援などが必要になります。経年的に状況の変化をみながら町や関係者と相談しながら継続した対応が必要となっており、関わりが長期化しています。

令和 5 年度は立川総合支所の改修工事後、7 月 18 日に立川サブセンターが引っ越すため、準備をしています。今後は利用者と関係機関への周知を図っていきます。

5 介護サービス事業（介護サービス課）

（1）居宅介護支援事業

再任用の職員が退職し、新たに常勤臨時職員を迎えたが、介護サービス課の主任介護支援専門員が包括課に法人内で異動したため、4月からは3名体制で業務を行いました。これまでと同じように地域の身近な相談窓口として、相談に迅速に対応し介護保険の申請代行から必要なサービスが円滑に利用できるように支援を行いました。また現在担当している利用者の相談や利用者の状態に応じた計画の見直しをスムーズかつ適確に行いサービス利用できるように支援しました。

① 実績報告

ケアプランの作成状況としては、新規受け入れは35名（前年度32名）でしたが、看取りの方や、施設入所となる方も多く、月平均約95.5件（前年度115件）、職員も1名減った事もあり年間を通して238件の減となりました。介護報酬については、前年度比5,046,180円の減収となりました。

1職員当たり担当する件数は33.3名から36名（要支援・事業対象者を含む）と増加しています。庄内町からの受託事業の要介護認定調査業務は毎月1人3件受入れ目標とし、102件で、件数は15件の増となりました。前年度比66,000円の増収です。予防プランの作成件数は153件で、件数としては年間59件の減となりました。作成委託料は252,205円の減収。予防プランに関しては、庄内町地域包括支援センターからの要請があった場合は断らずに受け入れするようにしていましたが、職員の体制が3名となり対応が追い付かなかった面がありました。担当している方の同居家族の相談を受ける場合もあり、介護相談から申請など、庄内町地域包括支援センターと連絡をとりながら業務にあたりました。

② 活動報告

直接来所相談される方は少なく、事業所をより多くの方から知っていただくため、事業所紹介のチラシを町内の医療機関と庄内町地域包括支援センターに配置していただきました。

10月に庄内町から運営指導を受けました。「概ね適正」との評価を受けました。内部研修としては、介護サービス課の研修委員会を中心に年2回の内部研修で、「感染症対策について」、「高齢者虐待（身体拘束を含む）について」を行い、その他に山形県社協の山形県福祉人材センターの「職場内研修講師派遣事業」を活用しメンタルヘルス支援研修を実施しました。

外部研修はコロナ禍ではありましたが、オンラインでの開催も増え、酒田市ケアマネージャー連絡協議会や、庄内町や庄内町地域包括支援センター主催の研修に参加し知識・技術の向上に努めました。庄内町居宅介護支援事業所事例検討会には職員が発表者として役割を担いました。

介護支援専門員実務研修における実習生の受け入れを2月に行いました。

庄内町の自立支援型地域ケア会議に参加するとともに、ケアプラン点検を受けました。

山形県が作成した高齢者虐待防止のパンフレットを利用者宅に配布し、啓発に取り組みました。

③ 令和5年度にむけた課題

今年度に続き、利用者にご不便をかける事が無いように相談業務にあたっていきます。必要なサービスを適切に利用できるように、法令遵守、知識・技術の習得に努め相談者に寄り添う支援に努めます。コロナ感染症は、5月8日以降扱いが5類に変更になりますが、拡大防止に努め、業務継続が図れるように情報収集を行い、行政や他のサービス事業所との連携を強化していきます。

(単位:件)

(単位:円)

月	(1)ケアプランの作成状況						(2)介護支援報酬		
	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	4年度	前年度	増減
4	41	22	22	13	6	104	1,606,880	1,806,540	-199,660
5	39	21	22	14	7	103	1,618,210	1,738,620	-120,410
6	40	19	19	13	8	99	1,529,950	1,921,900	-391,950
7	42	15	19	15	7	98	1,517,190	1,907,700	-390,510
8	41	15	17	16	7	96	1,417,780	1,887,920	-470,140
9	38	16	16	15	9	94	1,502,560	2,027,240	-524,680
10	40	20	15	15	10	100	1,550,790	2,070,130	-519,340
11	43	18	16	12	7	96	1,506,220	1,936,160	-429,940
12	39	17	18	10	8	92	1,468,830	1,980,720	-511,890
1	41	15	17	9	8	90	1,387,200	1,949,720	-562,520
2	35	17	17	8	7	84	1,306,790	1,816,480	-509,690
3	33	22	19	8	8	90	1,343,930	1,759,380	-415,450
計	472	217	217	148	92	1,146	17,756,330	22,802,510	-5,046,180
前年	557	367	201	157	102	1,384			

(単位:円)

月	(3)要介護認定調査委託料				(4)予防プラン委託料				(5)住宅改修支援	
	件数	4年度	前年度	増減	件数	4年度	前年度	増減	件数	委託料
4	6	26,400	39,600	-13,200	13	47,652	80,037	-32,385	0	0
5	12	52,800	30,800	22,000	13	53,352	64,466	-11,114	0	0
6	7	30,800	39,600	-8,800	13	49,799	74,337	-24,538	0	0
7	9	39,600	22,000	17,600	14	59,660	78,508	-18,848	0	0
8	8	35,200	26,400	8,800	13	49,799	88,379	-38,580	0	0
9	9	39,600	35,200	4,400	12	45,638	82,679	-37,041	0	0
10	9	39,600	17,600	22,000	11	41,477	64,296	-22,819	0	0
11	9	39,600	44,000	-4,400	12	51,338	74,157	-22,819	0	0
12	6	26,400	26,400	0	11	41,477	81,871	-40,394	0	0
1	9	39,600	26,400	13,200	11	41,477	62,149	-20,672	0	0
2	9	39,600	30,800	8,800	16	76,532	57,513	19,019	0	0
3	9	39,600	44,000	-4,400	14	53,960	55,974	-2,014	0	0
計	102	448,800	382,800	66,000	153	612,161	864,366	-252,205	0	0
前年	87				212				0	

(2) 訪問介護事業

常勤3名（内サービス提供責任者2名）、6月より非常勤ヘルパーが1名増え、7名で直接利用者宅に訪問し、支援を必要としている方の心身の状況に応じたサービスを提供しました。個々のアセスメントを十分に行い、有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう生活全般を支援しました。

① 実績報告

介護保険の訪問介護は、利用人数は前年度比10名の減となりました。要介護の利用においては、毎日の訪問や、1日数回の身体介護の訪問が特に減っております。介護報酬は8,987,281円の減収となりました。介護に引き続き行う生活支援を必要とする利用者が多くなっております。

庄内町からの受託事業の介護予防・日常生活支援総合事業の利用者数は月平均10名で前年度と変わりありませんが、利用回数が増えているため前年度比279,511円の增收となりました。

障害者居宅介護事業は、143,496円の增收となりました。利用者の状態の観察をおこない、変化やサインに気づき、適切な支援、早期対応へつなげております。

同行援護事業は、83,190円の增收となりました。利用人数は前年と同じ2名です。

訪問介護での減収の要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、サービス利用のキャセルや調整等が発生したことや、職員においては、体調不調等があり業務を縮小して事業継続したため新規の利用者を受けられない期間があった事が上げられます。

② 活動報告

利用者一人一人が、その方らしい生活を続けられるよう各担当職員を中心に、利用者の日々の様子や関わりから小さな変化においても、関係機関と連携を図りサービスの提供を行いました。

障害者居宅介護事業では、介護者からの要望に相談支援員と連絡をとりサービス内容を見直し必要なサービス提供を行いました。

内部研修としては、介護サービス課の研修委員会を中心に年2回の内部研修で、「感染症対策について」、「高齢者虐待（身体拘束を含む）について」を行い、その他に山形県社協の山形県福祉人材センターの「職場内研修講師派遣事業」を活用しメンタルヘルス支援研修を実施しました。（介護支援係と合同）

その他に、訪問介護係として介護サービスの質の向上を目的として常勤ヘルパー、非常勤ヘルパー共に月1回会議を開催し、情報共有と研修を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策としては実際に防護服などを装着し、繰り返し実施し、実践に生かしました。

③令和5年度にむけた課題

職員、家族がコロナ感染症の関係で、自宅待機となり、休養する職員が続き、「福祉のしごと」「就職ガイダンス」に参加できませんでした。訪問介護員の人材不足と、利用者確保は大きな課題となっています。配布するパンフレットの記載内容の見直しを行い、イベントへの参加、ホームページ、広報への掲載、居宅介護支援事業所等への訪問を行いより多くの方から興味を持って頂くように努めたいと思います。

(1) 介護保険及び居宅介護利用人数に関する調書

(単位:人)

	介護保険利用人数				指定居宅介護等利用人数				利用者 総数
	訪問介護	総合事業 (従前相当)	総合事業 (A型)	合計	身障居宅 介護	知的居宅 介護	同行援護	合計	
4月	36	9	11	56	10	0	2	12	68
5月	35	11	10	56	10	0	2	12	68
6月	31	12	10	53	10	0	3	13	66
7月	33	12	9	54	10	0	2	12	66
8月	37	12	9	58	10	0	2	12	70
9月	38	12	8	58	10	0	2	12	70
10月	32	11	8	51	10	0	2	12	63
11月	34	10	8	52	10	0	2	12	64
12月	34	11	7	52	10	0	2	12	64
1月	35	11	8	54	9	0	1	10	64
2月	29	13	8	50	9	0	1	10	60
3月	34	13	8	55	9	0	2	11	66
合計	408	137	104	649	117	0	23	140	789
前年	524	125	121	770	114	0	22	136	906
増減	-116	12	-17	-121	3	0	1	4	-117

(2) 事業収入に関する調書

(単位:円)

	介護報酬		利用者負担金		障害福祉		収入計
	訪問介護	総合事業	訪問介護	総合事業	身障居宅介護	同行援護	
4月	1,793,224	209,305	187,466	21,755	155,010	58,860	2,425,620
5月	1,671,724	223,547	192,892	24,762	137,860	54,560	2,305,345
6月	1,523,475	276,196	179,605	25,935	131,980	60,610	2,197,801
7月	1,625,347	275,935	193,219	28,035	134,240	64,520	2,321,296
8月	1,712,240	267,694	207,933	26,786	130,620	39,930	2,385,203
9月	1,318,177	266,090	165,997	27,150	132,520	50,570	1,960,504
10月	1,737,742	244,311	201,281	24,609	148,640	58,210	2,414,793
11月	1,454,970	235,934	156,816	23,756	150,990	53,230	2,075,696
12月	1,569,555	248,374	180,286	25,216	140,540	48,870	2,212,841
1月	1,141,261	275,767	133,083	27,083	143,670	38,260	1,759,124
2月	1,348,087	330,261	146,625	32,813	159,620	27,280	2,044,686
3月	1,348,771	311,550	148,511	32,185	138,210	53,880	2,033,107
合計	18,244,573	3,164,964	2,093,714	320,085	1,703,900	608,780	26,136,016
前年	27,231,854	2,885,453	3,302,785	320,210	1,560,404	525,590	35,826,296
増減	-8,987,281	279,511	-1,209,071	-125	143,496	83,190	-9,690,280

6 障害福祉サービス事業（障害者多機能型施設ひまわり園）

○ 概 要

利用者の個々のニーズに合った、きめ細やかなサービスの提供を目的に、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律（障害者総合支援法）に基づき、障害者多機能型施設として運営しております。

令和4年度についても、コロナの影響で外部での行事は中止となりましたが、感染対策を行いながら、園内でできる事を各事業で実施し、利用者の活動が限定的なものにならないよう配慮してまいりました。

また『庄内町障害者相談支援センター』との連絡、調整を図り、迅速な情報収集、潜在ニーズ把握等に努め、円滑な施設運営をおこなっております。

各事業、各活動に関わる利用者の特性を活かし、自立にむけて日々様々な活動をおこない、個々の適性にあった支援をおこなっております。

さらに、旧シルバー跡地を活用し、生活介護の拡大・菓子売り場設置等を含む増改築について、意見交換会を開催しながら計画した「5EN プロジェクト (HIMAWARIPROJECT)」として、「第2回日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト」に応募しましたが、採用されませんでした。

○ 報 告（事業別）

（1）生活介護事業

地域生活を営むうえでの生活能力と作業能力の向上を目的に支援を実施いたしました。心身の支援として個別の機能訓練も実施し、身体機能低下の防止のための直接的支援や多事業所との連携、医療機関との連携にも力を入れました。レクリエーションの充実を図り、季節ごとの行事や活動を取り入れ、一人ひとりが楽しみながら活動に参加することができました。また、利用者が安全に過ごせるよう事故防止対策を常に意識し職員間で情報共有し改善に努めました。

事 業	内 容
コミュニケーション訓練	挨拶、会話、公共マナー、漢字・計算練習（希望者）
日常生活訓練	感染予防のための手洗い、掃除・整理整頓、金銭の使い方、買い物実習、調理実習
作業活動訓練	木工、雑巾縫い、園芸、畑作業 受注作業訓練…木工ケース・木工トレーの研磨 (日本モッキ、ウッドマイスターより請負) ダンボール受注作業
月間レクリエーション活動	利用者の誕生日会、お花見、ドライブ、わろっく作成、七夕会、水遊びレク、ミニ運動会、さみだれ大堰フィッシングセンター見学、やきいもの日、ハロウィンパーティー、クリスマス会、書初め、節分、ひな祭り会
個別機能訓練	運動機能低下防止運動、身体機能低下予防、関節可動域訓練、嚙下体操、作業療法（手指、精神）、化粧療法 創作活動（月ごとにテーマあり）脳トレ
週間レクリエーション活動	水・木 実施

(2) 就労移行支援事業

一般就労に向けて事業所内および企業等で実習を行い、適性に合った職場探しや就労後の職場安定の支援を実施いたしました。

令和4年度は、就職者3名、企業実習は2社で実施いたしました。

企業実習

(企業名敬称略)

協力企業名	実習内容	期間
日本海総合病院	内視鏡の洗浄	R4.10月 5日間
山水園	清掃業務	R5.3月 14日間

作業活動

木工トレー・木工ケースの研磨（日本モッキ、杉山木工より請負）

段ボール組み立て 株式会社日本アビリチーズ社

庄内町高齢者世帯除雪作業（庄内町保健福祉課より委託）

就労支援

支援項目	支援内容
コミュニケーション 社会マナー訓練	実習に行く際の挨拶、職場でのマナーを実際の現場を想定し練習、座学を実施。 挨拶練習リストをつくり、大きな声での挨拶練習を実施。
他機関連携	ハローワークを利用し、求人検索・就職相談を実施。 庄内障害者就業・生活支援センター・庄内町保健福祉課と連携して就労支援を実施。
相談支援	日常生活・就労に関して利用者からの訴え、また園内生活で問題がある場合等、個別に面談し、助言・支援を行った。

(3) 就労継続支援（B型）事業

事業所内で就労および生産活動の機会を提供し、能力の向上や維持を目的に支援を実施いたしました。

今年度も、コロナウイルス感染症の影響でバザーの開催を心配しましたが、少しずつバザーが開催されるようになり、昨年度以上の金額を売り上げることが出来ました。関係機関の皆様からは、ひまわり園「お菓子の定期便」を継続して購入していただき、たくさんの方に宣伝していただくことが出来ました。そのお陰で、新規のお客様からの注文もあり、今年度の売り上げに繋がったと感謝しております。

今後も利用者の衛生・安全管理を徹底し「おいしい・安心・安全」な商品製造を進めてまいります。

受注活動

(企業名敬称略)

	活動内容	協力企業名
継続活動 (前年度より)	漬物シール貼り	(株)マルハチ
	きんちゃく結び	ハナブサ醤油(株)
	せんべい包装作業	(株)酒田米菓
	コア（電子部品）の組み立て・分解作業	株式会社 ウエノ

	書類の封詰め宛名貼り作業	庄内町保健福祉課
	庄内町高齢者世帯除雪作業	
	出荷梱包検査	株桜本製作所

菓子製造・販売活動

- ・庄内町、庄内地域の地域資源を活用した菓子製造
- ・各種バザー販売への参加

酒田市役所バザー（年4回）・松山いきいきクラブ「満福市」（年7回）
 庄内支庁販売（年2回）・庄内町 sun*sun バザー（年2回）・町湯販売
 しょうない秋まつり販売・松山健康福祉フェア・BOUSAI☆GO 販売
 町づくり講演会販売・総合表彰式販売・酒田市立保育園販売（毎月）

(4) 就労定着支援事業

福祉サービスを利用し、就職した方に対し、企業等に訪問し安定して就労できるように、企業との連携、本人への助言等を実施しました。

支援した事業所

◎山水園小規模多機能型居宅介護事業所 ◎菅原冷蔵㈱ ◎(有)佐藤クリーニング
 ◎㈱平田牧場本社

(5) 地域活動支援センター事業

生活支援員2名を配置し1日10名を定員として庄内町在住の障がいをお持ちの方や医療機関を受診している方などを対象に、自宅を出て活動する場所として事業を展開いたしました。

利用ケースとしては、離職して次の仕事、利用するサービスが決まるまで活動場所が欲しいと言った方等が利用されており、柔軟な支援を実施しております。

○令和4年度利用実績（単位 人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数	68	66	66	93	89	84	67	74	69	67	72	82	897
実人数	15	13	14	17	16	15	14	13	12	11	12	12	149
令和4年度 平均利用者数	3.4	3.5	3.0	4.6	4.0	4.2	3.3	3.7	3.4	3.5	3.8	3.7	3.6
令和3年度 平均利用者数	3.9	3.7	4.3	3.6	3.3	3.8	3.1	2.7	3.2	3.3	3.4	3.3	3.5

○令和4年度活動内容

項目	内 容
交流活動	ひまわり園の受注作業や、畑や花などの作業交流を実施。外部交流活動については、新型コロナウイルス感染防止のため未実施。
相談支援	個別で相談がある場合は、面談実施。必要に応じて庄内町障害者相談支援センター、指定相談支援事業所と連携して支援実施。
創作活動	ひまわり園の受注作業実施。 独自の創作活動では、クラフトテープを使ったかご作り、新聞エコバックづくり、塗り絵・切り絵、ガーデニング用品作成、スケッチなどを実施。
その他	タブレットを利用したカラオケ、脳トレ、図書館に本を借りに行く活動等も実施。

(6) 「第2回日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト」について

- ・意見交換会開催：3回 6月17日、7月7日、7月29日
- ・打合せ：7回 5月18日、6月10日、8月8日、8月16日、8月25日、9月2日、9月10日
- ・ひまわり園職員会議：3回 5月19日、5月24日、8月30日
- ・プロジェクト・レイアウト案募集(職員)：2回 5月27日、7月29日
- ・利用者・保護者へのアンケート：1回 6月28日
- ・日本財団説明会：1回 6月16日
- ・関係機関への説明・要望等：3回
 - ①8月3日 庄内町長・副町長・教育長へ説明と隣接地の利用要望書の提出
 - ②8月5日 庄内総合高校校長へ説明・意見交換
 - ③8月10日 余目中学校長へ説明・意見交換
- ・申請日：令和4年9月12日
- ・申請結果：令和4年10月 一次審査落選

○今後の課題

生活介護事業については、定員の充足を目指す必要があります。

就労移行支援については、就職し欠員となった定員の確保が困難であり、慢性的な利用者不足とならないよう、関係機関への利用者獲得活動を行いつつ、令和6年度の報酬改定を見ながら、本事業の存続に関して令和5年度中速やかに検証する必要があります。

また、園内の手狭問題により、引き続き、隣地の旧シルバー跡地を活用させていただけるよう町に働きかけ、活用できる補助金・助成金を十分に利用しながら増改築を行えるよう取り組んでまいります。

令和4年度 障害者多機能型施設ひまわり園 実績一覧 (利用状況)

年月	利 用 日 数	生活介護				就労移行				就労継続			
		利 用 者 数	延 利 用 日 数	利 用 率 (R4)	利 用 率 (R3)	利 用 者 数	延 利 用 日 数	利 用 率 (R4)	利 用 率 (R3)	利 用 者 数	延 利 用 日 数	利 用 率 (R4)	利 用 率 (R3)
4.04	20	8	143	71.5%	84.5%	7	120	100.0%	96.0%	15	290	96.7%	94.6%
4.05	19	8	132	69.5%	81.9%	7	121	106.1%	86.1%	15	267	93.7%	95.2%
4.06	22	8	146	66.4%	85.2%	6	122	92.4%	82.6%	14	287	87.0%	97.0%
4.07	20	8	154	77.0%	80.6%	6	117	97.5%	102.5%	14	265	88.3%	97.7%
4.08	22	8	146	66.4%	74.4%	6	108	81.8%	81.0%	14	265	80.3%	87.0%
4.09	20	8	143	71.5%	93.8%	6	108	90.0%	77.5%	14	272	90.7%	94.0%
4.10	20	8	120	60.0%	97.5%	6	97	80.8%	90.8%	14	227	75.7%	100.7%
4.11	20	8	151	75.5%	90.1%	5	68	56.7%	86.0%	14	272	90.7%	96.8%
4.12	20	8	145	72.5%	93.1%	3	64	53.3%	95.0%	15	283	94.3%	100.0%
5.01	19	8	134	70.5%	91.4%	3	46	40.4%	107.9%	15	248	87.0%	91.6%
5.02	19	8	142	74.7%	95.1%	3	56	49.1%	66.7%	15	265	93.0%	97.8%
5.03	22	8	165	75.0%	90.3%	3	66	50.0%	81.8%	15	315	95.5%	98.8%
計	243	96	1,721	70.8%	88.1%	61	1,093	75.0%	87.8%	174	3,256	89.3%	95.9%

* 利用率=(契約者延べ利用日数)÷(営業日数×定員数)

令和4年度 障害者多機能型施設ひまわり園 実績一覧（工賃支給）

年月	工賃【生活介護】			工賃【就労移行】			工賃【就労継続】		
	金額	令和4年	令和3年	金額	令和4年	令和3年	金額	令和4年	令和3年
4.04	8,172	1,022	989	43,318	6,188	3,863	256,360	17,091	14,443
4.05	2,897	362	865	27,687	3,955	7,156	248,310	16,554	15,713
4.06	2,584	323	513	24,755	4,126	3,295	241,367	17,241	14,805
4.07	7,831	979	1,041	28,689	4,782	4,388	234,260	16,733	14,923
4.08	7,783	973	720	40,469	6,745	3,491	222,865	15,919	13,280
4.09	2,966	371	584	22,968	3,828	3,995	240,448	17,175	14,363
4.10	3,511	439	844	41,158	6,860	4,786	236,080	16,863	14,637
4.11	6,429	804	816	25,683	5,137	4,769	240,448	17,175	14,686
4.12	11,008	1,376	1,180	25,018	8,339	5,699	250,172	16,678	15,127
5.01	8,824	1,103	1,132	23,278	7,759	6,529	242,554	16,170	14,989
5.02	8,628	1,079	738	18,762	6,254	5,269	246,450	16,430	14,925
5.03	6,255	782	977	18,272	6,091	4,780	252,945	16,863	15,083
臨時	-	-	-	-	-	-	1,870,770	124,718	87,390
計	76,888	801	867	340,057	5,575	4,784	4,783,029	27,489	22,070

※ 平均額=(収入額-諸経費)÷契約者数

令和4年度 障害者多機能型施設ひまわり園 地域活動支援センター 実績一覧（利用状況）

年月	利用日数	地域活動					
		定員数	利用者	延営業日数	延利用日数	利用率(R4)	利用率(R3)
4.04	20	10	15	200	68	34.0%	39.0%
4.05	19	10	13	190	66	34.7%	37.2%
4.06	22	10	14	220	66	30.0%	43.2%
4.07	20	10	17	200	93	46.5%	36.5%
4.08	22	10	16	220	89	40.5%	33.8%
4.09	20	10	15	200	84	42.0%	37.5%
4.10	20	10	14	200	67	33.5%	30.5%
4.11	20	10	13	200	74	37.0%	27.5%
4.12	20	10	12	200	69	34.5%	34.5%
5.01	19	10	11	190	67	35.3%	33.7%
5.02	19	10	12	190	72	37.9%	34.4%
5.03	22	10	12	220	82	37.3%	33.2%
計	243			2,430	897	36.9%	35.1%

※ 利用率=登録者延べ利用日数)÷(営業日数×定員数)